令和03年度日進市事務事業評価シート

大事業名	母子保健事業				コード	01020600-0101	
中事業名	母子健診事業				計画区分	―	
担当部等	健康福祉部			担当課等	健康課		
総合計画	コード	名称	予算科目		コード	名称	
基本目標	01	健やかに暮らす		会計	1	一般会計	
基本施策	02	子育て・子育ち支援		款	04	衛生費	
主要施策	06	母子の健康づくりの支援		項	01	保健衛生費	
				目	04	母子衛生費	
				大	01	母子保健事業	
				中	01	母子健診事業	
根拠法令・条例等	母子保健法、母子保健医療対対策総合支援事業						
基本計画等							

1　事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	妊産婦・乳児に健康診査受診票を発行し、医療機関において健康診査を実施する。また、妊産婦には歯科健康診査受診票を発行する。また、保健センターを会場に3～4か月児健診、1歳半児健診、3歳児健診及び、2歳2か月・2歳8か月児歯科健診を実施する。
対象	妊産婦、乳幼児
意図（目的）	疾病、異常の早期発見・対応ができる。
手段	健康診査受診票の発行、健診の実施

2　実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			H31予算額	H31決算額	R2予算額	R2決算額	R3予算額	R3決算額	R4予算額
			150,569	126,109	148,440	137,793	144,864	134,230	145,425
財源内訳	特定財源	国庫支出金	2,773	2,442	2,674	2,375	2,412	2,165	2,480
		県支出金	0	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	500	455	424	0	223	355	110
	一般財源		147,296	123,212	145,342	135,418	142,229	131,710	142,835

令和03年度日進市事務事業評価シート

○令和 3年度に記載した具体的な改善内容

令和 3年度に実施する具体的な改善内容	安心して乳幼児健診を受けることができるよう、感染症対策を十分に行い３密を避ける等環境整備等を継続し行う。またコロナ禍においても適切な時期に健診受診するよう、健診の必要性を周知していく。
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	全新生児が新生児聴覚検査が受けられるよう、検査費用の助成を検討する。また、産後の母の心身の状態や育児サポート等を確認する場として産後健診を行っているが、コロナ禍で里帰り出産をしない人も増えているため、産後の状態を確認する機会となる産後健診の受診券交付を２回に増やす検討を行っていく。

令和 3年度に取り組んだこと	令和２年度は中止していた２歳児歯科健診を他健診と同様に換気や消毒、密にならないよう受診人数を限定するなどの感染症対策を十分に行ったうえで、集団指導も含め再開した。令和4年2月から3歳児健診の視力検査において、コロナ禍でも必要な検査が短時間で効率的に実施できるようスポットビジョンを導入した。

成果	いずれの健診も前年度を上回る健診受診率があった。健診未受診者に対しても、面接や家庭訪問等を行い、発育・発達や子育て状況の把握に努めた。親子健康手帳交付時には、妊婦健診等の利用方法等を丁寧に説明し受診、利用の促進を図ることができた。3歳児健診においては、スポットビジョンの導入により短時間で検査を行うことができた。
課題	今後も感染症対策を継続し、新型コロナウイルス感染症の感染状況を確認しながら、健診を実施していく必要がある。また令和4年2月から導入したスポットビジョンの精度管理が必要である。新生児聴覚検査や、多胎児妊婦健診に対する費用助成について、導入に向けた具体的な実施方法について検討する必要がある。

３　事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	B	現状のまま継続	前年度評価結果	B
評価の理由	妊娠中に必要となる健診にかかる費用の補助券を、親子健康手帳（母子健康手帳）発行時に交付することで、安心して出産に臨める体制ができている。また健診の必要性や実施している感染症対策を周知していることで、乳幼児健診は高い受診率が維持できている。愛知県の母子保健マニュアル判定基準が令和3年度より変更になったことにより、より支援を必要とする対象の基準を課内で再検討することができた。			

４　今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 4年度に実施する具体的な改善内容		聴覚障害の早期発見・早期療育を図るため、令和４年４月以降に生まれた児を対象に新生児聴覚検査を実施する。また多胎児家庭の経済負担軽減のため、14回を超えた妊婦健診に係る多胎児妊婦健診費用の助成事業を開始する。			
今後の方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容		産後の母の心身の状態や育児サポート等を確認する場として産後健診を行っているが、コロナ禍で里帰りをしない人も増えているため、産後の状態を確認する機会となる産後健診の受診票交付を２回に増やす検討を行っていく。			

【アウトプット指標】

指標名	乳幼児健診受診率					単位	%
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	99.00	97.30	99.00	97.88	99.00	99.04	99.20

【アウトカム指標】

指標名	幼児健診における経過観察が必要と把握した数					単位	人
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	370.00	374.00	370.00	485.00	420.00	236.00	280.00
式	1歳半児及び3歳児健診において、子育て支援判定が保健機関継続支援及び他機関連携支援に該当した人						
指標の狙い	幼児健診において、適正なスクリーニングを行い、個別の支援が必要な人を早い段階で見つけ適切な支援を行うとともに、必要に応じて関係機関と連携する。						

令和03年度日進市事務事業評価シート

【アウトプット指標２】

指標名	妊産婦健診受診率					単位	%
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	97.00	90.55	95.00	91.93	95.00	94.11	95.00

【アウトカム指標２】

指標名	乳幼児健診の要精密検査者のうち疾病等の経過観察が必要となった数					単位	人
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	45.00	46.00	45.00	45.00	45.00	77.00	45.00
式	3～4か月児健診、1歳半児健診、3歳児健診の結果要精密検査になった人のうち、疾病等が発見された人						
指標の狙い	適正なスクリーニングを行い、疾患の早期発見治療につながる。						

令和03年度日進市事務事業評価シート

大事業名	母子保健事業				コード	01020600-0102	
中事業名	一般不妊治療費助成事業				計画区分	―	
担当部等	健康福祉部		担当課等	健康課			
総合計画	コード	名称	予算科目		コード	名称	
基本目標	01	健やかに暮らす		会計	1	一般会計	
基本施策	02	子育て・子育ち支援		款	04	衛生費	
主要施策	06	母子の健康づくりの支援		項	01	保健衛生費	
				目	04	母子衛生費	
				大	01	母子保健事業	
				中	02	一般不妊治療費助成事業	
根拠法令・条例等							
基本計画等							

1　事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	一組の夫婦に対して、自己負担額の二分の一以内の額で、診療開始日の属する月から継続する2年間で10万円を上限とし、不妊治療に要する費用の一部を助成する（ただし、夫と妻の前年度所得の合計が730万円未満の所得制限有）。
対象	法律上の夫婦で、夫若しくは妻のいずれか一方又は両方が日進市内に住所を有し、産婦人科・泌尿器科を標榜する医療機関において一般不妊治療を受けた人
意図（目的）	治療に要する経済的な負担を軽減し、少子化対策の充実を図る。
手段	一般不妊治療（体外受精及び顕微授精を除く）に要する費用の助成

2　実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			H31予算額	H31決算額	R2予算額	R2決算額	R3予算額	R3決算額	R4予算額
			3,942	2,404	3,548	3,235	3,154	5,223	3,942
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
		県支出金	775	573	697	821	537	1,247	815
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源		3,167	1,831	2,851	2,414	2,617	3,976	3,127

令和03年度日進市事務事業評価シート

○令和 3年度に記載した具体的な改善内容

令和 3年度に実施する具体的な改善内容	治療を実施した人が申請できるよう、助成対象者の拡充や所得制限の撤廃など、助成制度の変更内容について周知・啓発を行う。
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	親子健康手帳（母子健康手帳）交付時やホームページ・広報を利用し周知啓発を図る。

令和 3年度に取り組んだこと	所得制限を撤廃し、事実婚を含む一般不妊治療費に対しての助成を、市広報紙やホームページ等で広く周知した。

成果	所得制限が撤廃されたことで、前年度の２倍の１３０件の申請があり、経済的負担に対する支援を広く行うことができた。
課題	令和４年４月から保険診療の適用となったことで、愛知県の一般不妊治療費助成事業が終了されることから、本市においても今後の不妊症に関する支援のあり方を検討していく必要がある。

３　事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	B	現状のまま継続	前年度評価結果	B
評価の理由	３０代人口から推測される申請人数は７１名に対し、実申請者数は１３０名であり、昨年度より申請率が大幅に上がっている。			

４　今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 4年度に実施する具体的な改善内容		令和４年４月より不妊治療が保険適用となったことから、令和４年度にて愛知県の一般不妊治療費助成事業が終了となる。本市のおいても助成事業を終了とするため、市広報紙やホームページ等で終了の案内を広く周知する。			
今後の方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容		愛知県の一般不妊治療費助成事業が終了となることから、本市の同助成事業を終了し、不妊治療を受ける夫婦（事実婚を含む）への心の相談事業や、不妊治療を希望する夫婦に対する支援事業を検討していく必要がある。			

【アウトプット指標】

指標名	一般不妊治療費助成金申請件数					単位	件
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	75.00	63.00	75.00	65.00	75.00	130.00	130.00

【アウトカム指標】

指標名	人口から推計した対象者に対する申請率					単位	%
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	100.00	85.10	100.00	89.00	100.00	183.00	100.00
式	申請者数/人口から推計した対象者（30代女性×1.23%）×100						
指標の狙い	30代女性の人口から推計される不妊治療対象者が、本制度を利用する割合を高めることを目指す。						

令和03年度日進市事務事業評価シート

大事業名	母子保健事業				コード	01020600-0103	
中事業名	母子健康相談・教育事業				計画区分	―	
担当部等	健康福祉部		担当課等	健康課			
総合計画	コード	名　　称	予算科目		コード	名　　称	
基本目標	01	健やかに暮らす		会計	1	一般会計	
基本施策	02	子育て・子育ち支援		款	04	衛生費	
主要施策	06	母子の健康づくりの支援		項	01	保健衛生費	
				目	04	母子衛生費	
				大	01	母子保健事業	
				中	03	母子健康相談・教育事業	
根拠法令・条例等	母子保健法、子ども・子育て支援法						
基本計画等							

1　事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	子育て世代包括支援センターの運営により、切れ目ない支援体制を図る。妊娠期にはマタニティ教室・パパママ教室などの健康教育、出産後には新生児訪問、こんにちは赤ちゃん訪問、養育支援訪問、赤ちゃん電話相談、産後ケア事業を実施し、乳幼児を対象とした育児相談・計測日、多胎児交流会、10か月なかよし教室、健診事後教室、ことばの相談、中学生・乳幼児ふれあい体験事業を実施する。
対象	妊産婦・乳幼児
意図（目的）	安全な出産ができ、安心して子育てができることにより、乳幼児の健全な発育・発達を目指す。
手段	健康相談・健康教育・家庭訪問の実施

2　実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			H31予算額	H31決算額	R2予算額	R2決算額	R3予算額	R3決算額	R4予算額
			8,617	7,363	10,113	8,146	9,816	8,555	9,630
財源内訳	特定財源	国庫支出金	1,455	577	1,610	558	1,616	1,348	1,596
		県支出金	1,000	947	1,000	1,237	1,000	949	1,000
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源		6,162	5,839	7,503	6,351	7,200	6,258	7,034

令和03年度日進市事務事業評価シート

○令和 3年度に記載した具体的な改善内容

令和 3年度に実施する具体的な改善内容	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、３密を避け現在の感染症対策を継続しながら事業を継続していく。また、多胎児家庭のニーズの分析をもとに、外出に困難を伴う多胎児家庭に対し、多胎児外出支援事業と、妊娠期から出産後、子育て期まで気軽にオンラインで相談ができるオンライン子育て相談を新たに実施する。
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	コロナ禍で里帰り出産が出来ない妊婦も多くおり、産後に夫婦のみで育児を担うことが増えているため、出産後の不安に早期に対応できる体制を継続していくとともに、新たに利用できるサービスの検討を行っていく。

令和 3年度に取り組んだこと	オンラインにて相談ができる環境整備を行った。前年度は中止していた10か月なかよし教室を再開した。ミニママクラスは午後の開催を新設し、マタニティ教室は内容の見直しと対面と併用でオンライン配信を実施した。多胎児外出支援として、多胎児家庭に対し、支援員による外出時の準備や外出先での支援を行った。産後早期に子育て状況確認・支援を行った。

成果	広報や保健センターガイドに掲載し、オンライン相談ができる環境を整備した。またマタニティ教室やパパママ教室においてもオンライン配信を行った。多胎児外出支援では、対象者に個別案内を実施し、特に支援を必要とする低年齢の家庭への支援を行うことができた。妊娠中から産後早期の相談支援を実施し不安を軽減することができた。
課題	コロナ禍で子育て支援センターや福祉会館への外出を控える傾向にある保護者の相談が増える傾向にある。オンラインを活用した教室や相談事業を広げていく必要がある。

３　事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	B	現状のまま継続	前年度評価結果	B
評価の理由	感染症対策を十分に行い、健康教育や健康相談等事業を継続して実施することができた。産後早期に電話等で育児状況を把握することで、産後うつ様症状を呈した母に早期に必要な支援を提供することができた。			

４　今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 4年度に実施する具体的な改善内容		オンライン相談の申し込み方法を簡易にし、相談しやすい環境を整える。子育て支援センターの出張広場等地域で相談できる場に出向き、保護者が身近な場所で相談できる機会を提供する。コロナ禍においても感染症対策を十分に行い、事業実施を継続していく。多胎児外出支援については、令和４年度から子育て総合支援センターの指定管理に事業が含まれることとなるため、連携して実施していく。			
今後の方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容		子育て総合支援センターの指定管理者と連携調整を継続して行い、必要に応じて利用者の声も聴きながら、より利用しやすいサービスへの変更も検討していく。			

【アウトプット指標】

指標名	特定妊婦フォロー数					単位	人
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	220.00	226.00	220.00	227.00	220.00	216.00	220.00

【アウトカム指標】

指標名	特定妊婦のフォロー率					単位	%
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	99.00	94.10	99.00	99.60	99.00	100.00	99.00
式	電話・訪問等によりフォローした人数／特定妊婦（異動者・次年度支援予定者等当該年度フォロー対象外を除く）×100						
指標の狙い	特定妊婦に該当した妊婦に対して、安心して妊娠・出産を迎えられるよう必要な支援を個別に提供する必要があるため。						

令和03年度日進市事務事業評価シート

【アウトプット指標２】

指標名	家庭訪問実施率					単位	%
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	99.00	98.70	99.00	91.10	99.00	99.91	99.00

【アウトプット指標３】

指標名	養育支援訪問、産後ケア事業利用者実人数					単位	人
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	5.00	5.00	5.00	16.00	15.00	12.00	15.00

令和03年度日進市事務事業評価シート

大事業名	成人保健事業				コード	01050100-0101	
中事業名	がん検診推進事業				計画区分	―	
担当部等	健康福祉部		担当課等	健康課			
総合計画	コード	名　　称	予算科目		コード	名　　称	
基本目標	01	健やかに暮らす		会計	1	一般会計	
基本施策	05	健康づくり		款	04	衛生費	
主要施策	01	生活習慣病等の予防対策の推進		項	01	保健衛生費	
				目	03	予防費	
				大	01	成人保健事業	
				中	01	がん検診推進事業	
根拠法令・条例等	健康増進法、がん検診基本法						
基本計画等							

1　事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	がん検診の実施及び受診率向上のためにがん検診推進プロジェクトとしてがんに関する情報提供や検診の重要性の認識と動機付けを行う。
対象	市民
意図（目的）	がんの早期発見を図る。
手段	がん検診及びがん検診推進プロジェクトの実施

2　実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			H31予算額	H31決算額	R2予算額	R2決算額	R3予算額	R3決算額	R4予算額
			176,798	165,610	178,646	156,319	170,333	169,931	167,621
財源内訳	特定財源	国庫支出金	1,737	1,781	1,781	1,795	1,795	9,243	1,859
		県支出金	0	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	3,755	3,551	3,877	2,614	3,846	2,801	3,281
	一般財源		171,306	160,278	172,988	151,910	164,692	157,887	162,481

令和03年度日進市事務事業評価シート

○令和 3年度に記載した具体的な改善内容

令和 3年度に実施する具体的な改善内容	コロナ禍において、緊急事態宣言下にあっても不要不急の外出に当たらない検診については、１年を通じて安心して受診できる環境を提供できるよう、医療機関等と連携し体制を整える。精密検査の受診率向上を目指し、医療機関及び受診者へ周知を行う。引き続きがん検診の受診券の個別通知やチラシの回覧、がん検診の必要性について周知し、受診勧奨を行う。
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	個別通知や回覧チラシ等の内容を見直し、受診意欲を高められるものに変更する。

令和 3年度に取り組んだこと	コロナ禍においても安心して受診できるよう、医療機関等と連携し体制を整えた。がん検診受診券の個別通知を行い、コロナ禍においても不要不急の外出に該当しないがん検診の必要性について周知した。30代さわやか健診申込者への受診券にがん検診受診券を同封し若い世代への受診勧奨を行った。包括連携協定を結んでいる企業と連携し周知を行った。

成果	コロナ禍においてもがん検診の必要性を周知し、感染症対策をとりながら安心して受診できる環境を整えたことにより、受診者数が増加した。精密検査の受診勧奨を実施したことにより、精密検査受診者数増加に繋がった。
課題	コロナ禍において受診をためらっている人へ引き続きがん検診の必要性を周知する必要がある。

３　事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	B	現状のまま継続	前年度評価結果	B
評価の理由	様々な方法でコロナ禍においてもがん検診の必要性を周知し、感染症対策をとりながら安心して受診できる環境を整えたことにより、受診者数の増加につながった。			

４　今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 4年度に実施する具体的な改善内容		引き続きコロナ禍においてもがん検診の必要性を周知し、安心して受診できる環境を整備する。幼児健診や予防接種の案内等にがん検診のチラシを同封し若い世代へ受診勧奨を行う。包括連携協定を結んでいる企業と連携し様々な世代への周知を行う。集団がん検診については、受診者の利便性を考慮し、半日で全ての検診を受診できる体制を整える。受診勧奨ができていなかった一部の精密検査未実施者へ受診勧奨を行う。			
今後の方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容		個別通知や回覧チラシ等の内容を見直し、受診意欲を高められるものに変更する。30代さわやか健診とがん検診の受診券を一体型にし、若い世代の受診意欲の向上を図る。包括協定を結んだ企業と連携し周知を行う。			

【アウトプット指標】

指標名	受診者数					単位	人
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	29,900.00	29,539.00	29,900.00	27,488.00	29,900.00	29,799.00	29,900.00

【アウトカム指標】

指標名	がん発見者数					単位	人
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	58.00	63.00	65.00	40.00	65.00	46.00	65.00
式	がん発見者数						
指標の狙い	がん検診の精度管理は、一定の発見率の水準が必要であるが、市町村単位の受診者数では１人の発見で率が大きく左右されるため、アウトカム指標はがん発見数とした。						

令和03年度日進市事務事業評価シート

大事業名	成人保健事業				コード	01050100-0102	
中事業名	成人健診事業				計画区分	―	
担当部等	健康福祉部		担当課等	健康課			
総合計画	コード	名　　称	予算科目		コード	名　　称	
基本目標	01	健やかに暮らす		会計	1	一般会計	
基本施策	05	健康づくり		款	04	衛生費	
主要施策	01	生活習慣病等の予防対策の推進		項	01	保健衛生費	
				目	03	予防費	
				大	01	成人保健事業	
				中	02	成人健診事業	
根拠法令・条例等	健康増進法						
基本計画等							

1　事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	生活習慣病予防を目的とした健診の実施
対象	市民
意図（目的）	市民が健診を受診することで、自身の健康について再認識すると共に、自分や家族の生活習慣を見直し、生活習慣病を予防できる。
手段	健診の実施

2　実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			H31予算額	H31決算額	R2予算額	R2決算額	R3予算額	R3決算額	R4予算額
			19,417	13,605	17,186	12,184	18,342	13,397	13,912
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
		県支出金	5,293	5,306	6,330	5,049	6,330	4,781	6,330
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	905	857	981	676	940	1,069	544
	一般財源		13,219	7,442	9,875	6,459	11,072	7,547	7,038

令和03年度日進市事務事業評価シート

○令和 3年度に記載した具体的な改善内容

令和 3年度に実施する具体的な改善内容	30代さわやか健診は、集団方式から個別方式へ変更する。高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施に関連し、関係機関と連携し、オーラルフレイルに関する情報提供を行う。また、後期高齢者を対象とした歯科検診の導入に向けた準備を行う。
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	30代さわやか健診は、引き続き効果的な受診勧奨方法を検討する。高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施に関連し、後期高齢者を対象とした歯科健診の導入を検討する。

令和 3年度に取り組んだこと	30代さわやか健診は、医療機関で受診できる個別方式で実施し、指導該当者には医師による保健指導を行った。成人歯周病検診では、後期高齢者を対象とした歯科検診の導入に向け、対象者の調整や、質問票や指導用媒体作成等の準備を行った。また、勧奨通知にオーラルフレイルに関する内容を掲載し啓発を行った。

成果	30代さわやか健診は、個別方式に変更したことで新型コロナウイルス感染予防対策が整った医療機関で受診できる、健診実施期間が長くなった等により受診しやすい体制を整えたことで受診者が前年度より増加した。成人歯周病検診では、勧奨通知の内容を工夫し、受診率がやや増加した。
課題	成人歯周病検診において、新たに後期高齢者を対象とした質問票を導入するにあたり、実施体制を整える必要がある。30代さわやか健診についてはメタボリックシンドローム該当率が高くなっていることから、効果的な保健指導の実施や継続受診ができるよう働きかける必要がある。

３　事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	B	現状のまま継続	前年度評価結果	B
評価の理由	コロナ禍においても、健診受診者数は維持できており、感染予防対策を講じた上で受診しやすい体制を整えることができている。成人歯周病検診ではオーラルフレイルに関する内容を通知に盛り込み、フレイル予防に関する周知啓発ができた。30代さわやか健診では医師による生活習慣病予防のための指導ができた。			

４　今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 4年度に実施する具体的な改善内容		30代さわやか健診では、保健指導が十分行えるよう、医療機関へ指導用媒体を配布する。また、継続受診を促すため、前年度受診者を含め、受診券の個別通知を行う。成人歯周病検診では、後期高齢者を対象とした質問票を新たに実施し、口腔機能低下のリスク者に対しては、指導用媒体を使用し歯科医師による保健指導を実施する。			
今後の方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容		30代さわやか健診の受診券をがん検診受診券と一体化し、がん検診も含めた受診率向上を図る。成人歯周病検診については、質問票の結果分析等を行うなど後期高齢者を対象とした歯科健診の内容を評価するとともに、歯周病予防のための効果的な実施について対象年齢等を検討する。			

【アウトプット指標】

指標名	30代さわやか健診受診者数					単位	人
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	570.00	509.00	520.00	297.00	520.00	433.00	520.00

【アウトカム指標】

指標名	メタボリックシンドローム該当率					単位	%
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	2.00	3.90	2.00	6.70	2.00	7.20	2.00
式	メタボリックシンドローム該当者数（予備軍含む）/受診者数						
指標の狙い	健診を受診することで、メタボリックシンドロームについて知り、予防することが望ましいため。						

令和03年度日進市事務事業評価シート

【アウトプット指標２】

指標名	成人歯周病検診受診者数					単位	人
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	1,500.00	1,357.00	1,500.00	1,373.00	1,500.00	1,346.00	1,500.00

【アウトカム指標２】

指標名	一人あたりの現在歯数					単位	本
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	27.50	27.30	27.50	27.50	28.00	27.50	28.00
式	現在歯数／受診者数						
指標の狙い	歯の喪失原因で多い歯周疾患を予防することで、早い時期からの歯の喪失を防ぐことができるため、１人あたりの現在歯数とする。						

令和03年度日進市事務事業評価シート

大事業名	健康づくり事業				コード	01050200-0201	
中事業名	健康づくり事業				計画区分	①	
担当部等	健康福祉部		担当課等	健康課			
総合計画	コード	名　　称	予算科目		コード	名　　称	
基本目標	01	健やかに暮らす		会計	1	一般会計	
基本施策	05	健康づくり		款	04	衛生費	
主要施策	02	家庭や地域における健康づくり活動の推進		項	01	保健衛生費	
				目	03	予防費	
				大	02	健康づくり事業	
				中	01	健康づくり事業	
根拠法令・条例等							
基本計画等	第２次いきいき健康プランにっしん２１						

１　事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	「第2次いきいき健康プランにっしん21」に基づき、各種健康増進施策を実施する。また、「いきいき健康プランにっしん21推進委員会」に諮りつつ、計画の進捗管理を行う。さらに、食生活改善推進員や運動普及推進員等に対して、より良い活動ができるための支援を実施する。
対象	市民
意図（目的）	市民の健康寿命の延伸及びＱＯＬの向上を図る。
手段	各種健康増進施策の実施、「いきいき健康プランにっしん21推進委員会」の開催、計画の進捗管理、食生活改善推進員や運動普及推進員の養成及び活動支援

２　実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			H31予算額	H31決算額	R2予算額	R2決算額	R3予算額	R3決算額	R4予算額
			2,343	2,238	2,949	2,346	2,857	2,122	2,849
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	35	30	0	0	35
	一般財源		2,343	2,238	2,914	2,316	2,857	2,122	2,814

令和03年度日進市事務事業評価シート

○令和 3年度に記載した具体的な改善内容

令和 3年度に実施する具体的な改善内容	新型コロナウイルス感染症予防体制下の新しい生活様式に即した形での健康づくりを推進するため、感染症予防に配慮した形でのにっしん体操指導者養成講座の実施、地域での運動を普及・指導する運動普及推進員養成講座の実施、栄養・食生活改善促進のための食生活改善推進員の育成をするとともに、健康マイレージのさらなる普及のための企業連携を引き続き行う。
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	第2次いきいき健康プランにっしん21最終評価に向け、にっしん体操スポット支援や健康マイレージの愛知県とのアプリ連携などによる健康意識の向上に向けた取組と、食生活改善推進員、運動普及推進員の養成や活動支援による、栄養・食生活、運動の両面からの健康づくり推進を行う。

令和 3年度に取り組んだこと	にっしん健康マイレージ事業の普及として若い世代も含め幅広い世代に参加してもらえるよう健康マイレージアプリを導入した。また、新型コロナウイルス感染予防体制下の新しい生活様式に即した形での健康づくりを推進するため、家庭でも気軽にできるよう新たにヘルピーストレッチ動画を作成した。歯と口腔の健康づくり条例制定に伴う事業実施をした。

成果	にっしん健康マイレージアプリの導入により、健康づくりに取り組む若い世代の増加が図れた。にっしん体操出前講座で食育及び歯科の講話を実施、ヘルピーストレッチ動画作成、歯と口腔の健康づくり条例制定に伴う乳幼児を対象とした歯科健診、高齢者を対象としたオーラルフレイルに関する啓発したことにより、市民の健康維持、増進を推進できた。
課題	にっしん健康マイレージアプリ機能を導入したことで参加できる世代は広がったが、紙媒体を含めた全体の達成者数が減少したことから、さらなる事業の周知啓発を図っていく必要がある。ヘルピーストレッチについても広く市民に周知啓発を行っていく必要がある。

３　事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	B	現状のまま継続	前年度評価結果	B
評価の理由	健康マイレージやヘルピー健康だよりの配布など、就労世代の健康増進に向けた取組を行うことができたほか、集いの場等の地域活動の場での食生活改善推進員や運動普及推進員の活動を支援することで、栄養・食生活の啓発、にっしん体操の普及や高齢者等の健康維持の取組を行うことができた。			

４　今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 4年度に実施する具体的な改善内容		新型コロナウイルス感染症再拡大防止に配慮した形でのにっしん体操指導者養成講座の実施、栄養・食生活改善促進のための食生活改善推進員の育成、「日進市みんなですすめる歯と口腔の健康づくり条例」の制定に伴い、乳幼児については歯科健診を始め、保育園での歯科衛生士による歯科講話の実施、高齢者についてはオーラルフレイルに関する啓発として保健師や歯科衛生士による健康教育を引き続き行う。			
今後の方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容		新型コロナウイルス感染症予防など新たな課題を踏まえた健康づくりを検討し、食生活改善推進員、運動普及推進員とともに第２次いきいき健康プランにっしん21の最終評価に向けた取組を行う。			

【アウトプット指標】

指標名	会議・イベント開催数						単位	回
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	
	5.00	5.00	5.00	4.00	5.00	4.00	5.00	

【アウトカム指標】

指標名	市の平均寿命（男性）						単位	歳
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	
	82.10	82.10	82.10	82.10	82.10	82.10	82.10	
式	愛知県市町村別生命表から抜粋 （人口、死亡数、乳児死亡数、出生数を基礎資料としている。） 平均寿命＝0歳の平均余命							
指標の狙い	計画では市民の健康寿命延伸を目指しているため、その基準となる平均寿命を指標とし、平均寿命を延ばすことを目標とする。数値は、平成27年（平成30年発表）で、男女別・5年毎に発表される。※性別毎にデータが示されるため、男性の平均寿命を採用する。							

令和03年度日進市事務事業評価シート

【アウトプット指標２】

指標名	にっしん体操スポット数					単位	箇所
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	20.00	27.00	20.00	27.00	27.00	29.00	20.00

【アウトプット指標３】

指標名	にっしん健康マイレージの達成者数					単位	人
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	800.00	1,128.00	1,000.00	1,016.00	1,000.00	885.00	1,000.00

【アウトカム指標２】

指標名	健康であると回答した人の割合（市民意識調査）					単位	%
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	85.00	83.70	85.00	82.70	85.00	82.70	85.00
式	日進市市民意識調査（隔年）から抜粋 設問「あなたは、現在のご自身の健康状態をどのように思われますか」						
指標の狙い	計画では市民が健康に生活できることを目標としており、市民が健康を実感していることは、健康づくり事業の成果の表れとなるため、本項目を指標とする。						

令和03年度日進市事務事業評価シート

大事業名	保健センター管理運営事業				コード	01060100-0202	
中事業名	保健センター運営事業				計画区分	―	
担当部等	健康福祉部		担当課等	健康課			
総合計画		コード	名　　称	予算科目		コード	名　　称
	基本目標	01	健やかに暮らす		会計	1	一般会計
	基本施策	06	医療・感染症対策		款	04	衛生費
	主要施策	01	地域医療の充実		項	01	保健衛生費
					目	02	保健センター運営費
					大	02	保健センター管理運営事業
					中	02	保健センター運営事業
根拠法令・条例等	保健センター条例						
基本計画等							

1　事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	各種会議の開催、臨時職員等の雇用、旅費の支払等、保健センターの運営に関する総務的な事務を適切に執行する。
対象	保健センターの総務的な事務
意図（目的）	適切に執行する。
手段	市の契約規則及び会計規則に則った契約及び支払いの実施、各種会議の開催

2　実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			H31予算額	H31決算額	R2予算額	R2決算額	R3予算額	R3決算額	R4予算額
			26,537	22,060	25,454	22,848	30,458	27,982	29,126
財源内訳	特定財源	国庫支出金	2,157	1,456	958	1,352	2,331	1,974	1,000
		県支出金	1,110	951	1,063	1,242	1,063	909	1,105
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	101	139	161	67	90	27	35
	一般財源		23,169	19,514	23,272	20,187	26,974	25,072	26,986

令和03年度日進市事務事業評価シート

○令和 3年度に記載した具体的な改善内容

令和 3年度に実施する具体的な改善内容	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う新しい生活様式に対応した事業実施が求められる中で、健診対象者が安心して健診を受けられる体制整備や、参加型の親子教室及び相談事業を行う。新たな体制に対応した健診計画の策定、保健師等の雇用、必要物品の調達を行い、効率的かつ安全な体制を整える。
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	事業体制の改善のほか、様々な感染症流行時に適切な対応を取れるよう、必要物品等の調達保管を行う。

令和 3年度に取り組んだこと	健康課の所管する各種事業の円滑な運営のため、感染症予防対策を施した各種会議の開催、健診等事業の円滑な実施及び歯と口腔の健康づくり条例制定に伴う会計年度任用職員の雇用、健診事業に不可欠な健康管理システムの番号法関連におけるシステム改修、新型コロナウイルス感染症に罹患した世帯への生活支援等、保健センターの総務的な事務に取り組んだ。

成果	コロナ禍においても各種事業を円滑に実施することができた。また、感染症対策では、新型コロナウイルス感染症対策として必要な資材の調達や、日進市緊急時生活支援チームの設置等の体制整備と市民への生活支援を行い、感染拡大防止に務めることができた。
課題	保健センターは老朽化が進んでおり、出生数に比して施設が手狭となっている。健診等事業の効率的な運営のため、保健師等の雇用の充実、健康管理システムの充実等が課題である。

３　事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	B	現状のまま継続	前年度評価結果	B
評価の理由	施設が手狭となっている中で、必要最低限の職員及び会計年度任用職員で事業を実施し、大きな事故や苦情がなく健診や教室等の運営事業を行うことができた。また、感染症対策では、新型コロナウイルス感染症に罹患した世帯への生活支援を実施するなどし、市民が安心して暮らせるよう感染拡大を防止した。			

４　今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 4年度に実施する具体的な改善内容		新型コロナウイルス感染者が徐々に減少してきている中で、感染状況や国・県の方針に基づき、状況に応じた体制整備を行い、健診対象者が安心して健診を受けられる事業実施、参加型の親子教室及び相談事業を行う。保健師等の雇用、必要物品の調達を行い、効率的かつ安全な体制を整える。			
今後の方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容		感染状況や国・県の方針に基づき、状況に応じた事業実施体制整備のほか、様々な感染症流行時に適切な対応が取れるよう、必要物品の調達や、非対面式での保健指導や教室参加ができる環境整備を行う。			

【アウトプット指標】

指標名	運営協議会等会議開催数					単位	回
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00

【アウトカム指標】

指標名	苦情件数					単位	件
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
式	苦情件数（市長への提案箱等を利用した苦情）						
指標の狙い	施設利用への市民の安心度を計るため、運営に関する苦情等を指標とし、苦情ゼロを維持する。						

令和03年度日進市事務事業評価シート

大事業名	救急医療体制支援事業				コード	01060100-0301	
中事業名	救急医療体制支援事業				計画区分	―	
担当部等	健康福祉部		担当課等	健康課			
総合計画	コード	名称	予算科目		コード	名称	
基本目標	01	健やかに暮らす		会計	1	一般会計	
基本施策	06	医療・感染症対策		款	04	衛生費	
主要施策	01	地域医療の充実		項	01	保健衛生費	
				目	02	保健センター運営費	
				大	03	救急医療体制支援事業	
				中	01	救急医療体制支援事業	
根拠法令・条例等	日進市休日急病診療所運営費補助金交付要綱						
基本計画等							

1　事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	休日の一次救急医療体制を確保するため、東名古屋医師会休日急病診療所の運営費に対し補助を行う。また、夜間及び休日の二次救急医療体制を確保するため、尾張東部圏域５市１町で構成される尾張東部地域救急医療対策連絡協議会が実施する病院群輪番制病院運営費補助事業に対し、負担金を拠出する。
対象	市民
意図（目的）	休日等の救急医療体制を確保する。
手段	東名古屋医師会休日急病診療所への補助金の交付、尾張東部地域救急医療対策連絡協議会に対する負担金の拠出

2　実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			H31予算額	H31決算額	R2予算額	R2決算額	R3予算額	R3決算額	R4予算額
			8,370	8,362	8,349	8,349	8,368	13,368	8,387
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	3,650	3,677	3,576	3,577	3,586	5,612	3,606
	一般財源		4,720	4,685	4,773	4,772	4,782	7,756	4,781

令和03年度日進市事務事業評価シート

○令和 3年度に記載した具体的な改善内容

令和 3年度に実施する具体的な改善内容	毎月の実績報告、定期的な帳簿の確認、決算書類等の確認により、補助金の適正支給に努める。 また、新型コロナ禍においても必要な医療が受けられるよう、休日の一次救急医療体制を維持するため、運営に対する支援を実施する。
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	変動する受診者数に影響されず休日夜間の医療体制維持が行えるよう、定期的に運営体制等を確認し、補助金の適正支給に努める。

令和 3年度に取り組んだこと	休日の一次救急医療体制を確保するために東名古屋医師会休日急病診療所の運営費に対し補助金を支給した。また、新型コロナウイルス感染症疑い患者に対する抗体検査体制の充実を図るため、運営費支援金を交付した。

成果	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う感染症患者が増加する中で、検査に時間のかかる抗体検査体制への支援を行うことで、休日に診療を受けられる休日急病診療所は、市民の安心安全を確保することができた。
課題	新型コロナウイルス感染症予防対策により、インフルエンザ等他の感染症発生の抑制に繋がったことから診療報酬等の収入に大きく影響し、今後も各種感染症の有無により受診患者数が大幅に変動し、一次救急医療である休日急病診療所や二次救急医療機関の運営が不安定になる場合があるため、補助金等により安定的な運営の支援に努める必要がある。

３　事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	B	現状のまま継続	前年度評価結果	B
評価の理由	各種感染症の影響により受診患者数の変動が大きいことから、安定した医療体制維持には補助金等が不可欠である。毎月の実績報告及び帳簿の確認等を定期的に実施し、補助金等の支給や必要に応じて支援金を交付することは、適切かつ安定的な運営に効果的である。			

４　今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 4年度に実施する具体的な改善内容		毎月の実績報告、定期的な帳簿の確認、決算書類等の確認により、関係市町と協議しながら適正支給に努める。 また、各種感染症患者に対する検査体制について、医師、看護師、薬剤師等の負担軽減が図れるよう診察室から検査が行える整備を行う。			
今後の方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容		各種感染症の有無により受診患者数が大幅に変動することから、診療報酬の収入見込みや医薬材料費購入見込み等の運営費用の見直し修正が早い段階で適宜できるよう支援していく。			

【アウトプット指標】

指標名	休日急病診療所の診療日数					単位	人
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	76.00	76.00	72.00	72.00	72.00	72.00	72.00

【アウトカム指標】

指標名	休日急病診療所の苦情件数					単位	件
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
式	苦情件数（運営体制に関する苦情）						
指標の狙い	苦情がないということは、市民が休日急病診療所を安心して利用している指標となるため、運営体制に関する苦情を指標とし、苦情ゼロを維持する。						

令和03年度日進市事務事業評価シート

大事業名	予防接種推進事業				コード	01060200-0301	
中事業名	予防接種推進事業				計画区分	―	
担当部等	健康福祉部		担当課等	健康課			
総合計画	コード	名　　称	予算科目		コード	名　　称	
基本目標	01	健やかに暮らす		会計	1	一般会計	
基本施策	06	医療・感染症対策		款	04	衛生費	
主要施策	02	感染症予防の推進		項	01	保健衛生費	
				目	03	予防費	
				大	03	予防接種推進事業	
				中	01	予防接種推進事業	
根拠法令・条例等	予防接種法						
基本計画等							

1　事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	法に基づく定期予防接種（Ａ類疾病ワクチン：ヒブ・小児用肺炎球菌・Ｂ型肝炎・ＢＣＧ・四種混合・三種混合・二種混合・ポリオ・ＭＲ・麻しん・風しん・水痘・日本脳炎・子宮頸がん及びＢ類疾病ワクチン：インフルエンザ・高齢者肺炎球菌）及び風しんの追加的対策の一環である抗体検査を実施する。また、高齢者の肺炎球菌予防接種や成人の風しんワクチン予防接種、特別な理由による任意予防接種の助成を行う。
対象	市民
意図（目的）	適正な予防接種を行うことで、個人レベルでの疾病予防を図り、ひいては感染症の流行を防止する。
手段	予防接種の実施または費用の助成

2　実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			H31予算額	H31決算額	R2予算額	R2決算額	R3予算額	R3決算額	R4予算額
			355,781	293,596	367,276	333,545	311,077	308,702	389,981
財源内訳	特定財源	国庫支出金	16,775	8,029	7,545	4,403	4,403	0	2,854
		県支出金	39	132	837	14,593	150	58	150
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源		338,967	285,435	358,894	314,549	306,524	308,644	386,977

令和03年度日進市事務事業評価シート

○令和 3年度に記載した具体的な改善内容

令和 3年度に実施する具体的な改善内容	風しんの抗体価が低い世代の男性対象の抗体検査は３年間の限定事業であり、最終年度となるため接種勧奨を強化する。
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	接種率の維持・向上のため、接種勧奨の時期や内容について検討する。

令和 3年度に取り組んだこと	日本脳炎ワクチン不足により送付を控えていた2期対象者に、1月より接種券送付を再開した。風しんの抗体価が低い世代の男性対象の抗体検査は最終年度となることを十分周知して勧奨した。HPVワクチンの接種勧奨が再開されたため、次年度に向けた個別通知等の準備を行った。

成果	風しんの抗体価が低い世代の男性対象の抗体検査は実施者数が増加した。前年度から引き続きHPVワクチンに関する周知を行った結果、接種率が向上した。
課題	風しんの抗体価が低い世代の男性対象の抗体検査は、実施期間が３年間延長されたため、引き続き周知していく必要がある。HPVワクチンの接種勧奨が再開され、接種時期を逃してしまった人に対する接種の機会を確保し、実施する旨の通知も国からあったことから、体制を整えていく必要がある。

３　事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	B	現状のまま継続	前年度評価結果	B
評価の理由	個別勧奨通知や広報等の周知により接種率を維持することができている。			

４　今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 4年度に実施する具体的な改善内容		令和3年11月にHPVワクチンの接種勧奨が再開されたため、キャッチアップ対象者を含めた未接種者へHPVワクチン接種券の送付や償還払いの体制を整える。風しんの抗体価が低い世代の男性対象の抗体検査は、実施期間がさらに３年間延長されたため、引き続き未接種へクーポン券を送付し勧奨する。			
今後の方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容		接種率の維持・向上のため、接種勧奨の時期や内容について検討する。			

【アウトプット指標】

指標名	乳幼児等予防接種者数（全種類）					単位	人
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	24,727.00	24,627.00	24,503.00	24,404.00	24,162.00	23,438.00	28,919.00

【アウトカム指標】

指標名	MR1期接種率					単位	%
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	99.00	97.10	99.00	93.60	99.00	94.78	99.00
式	MR1期接種者数/対象者数×100						
指標の狙い	乳幼児等予防接種は全て重要であるが、国が示す「麻しんに関する特定感染症予防指針」によりMR1期の接種率を指標とする。転出入や出生の時期によっては接種可能となる時期が年度を越えることもあり計算式上では目標値を99%とする。						

令和03年度日進市事務事業評価シート

【アウトプット指標２】

指標名	高齢者定期予防接種者数（インフルエンザ・高齢者用肺炎球菌）				単位	人
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	10,900.00	10,464.00	10,470.00	13,773.00	11,742.00	11,480.00	11,577.00

【アウトプット指標３】

指標名	高齢者用肺炎球菌予防接種助成者数				単位	人
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	360.00	417.00	420.00	530.00	530.00	455.00	460.00

【アウトカム指標２】

指標名	高齢者予防接種の接種率				単位	%
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	55.00	55.40	56.00	57.40	56.00	55.50	56.00
式	（インフルエンザ予防接種者数/65歳以上の人口×100＋定期肺炎球菌予防接種者数(65歳）/定期肺炎球菌対象者数（65歳）×100）/2						
指標の狙い	法律に基づいた事業で、高齢者の健康のため一定の接種率を維持していくことを目指す。						